

ハンドボール競技における左サイドと右サイドのシュートプレーの相違に関する研究 ～世界レベル、学生レベルの男子を対象に～

山口 博之 (200812091、ハンドボール方法論)

指導教員：會田 宏、河村 レイ子

キーワード： サイドシュート、腕の振り、シュートコース

【目的】

ハンドボールのサイドシュートに関するこれまでの研究では、左右それぞれのポジションでのシュートプレーの特徴を明らかにしているが、左右の相違については検討していない。そこで本研究では左サイドと右サイドのシュートプレーをシュート達成までのプロセスに着目して分析し、世界レベル、学生レベルのプレーヤーを対象に分析・比較を行い、両サイドの技術的特性を明確にし、自身のこれからの競技生活に活かすとともに、今後指導者になったときの一資料とすることを目的とする。

【方法】

本研究では世界レベルおよび学生レベルにおける右利きの左サイドからのシュート、左利きの右サイドからのシュートを研究対象とした。

分析項目は歩数、ボールの保持、踏み切り脚、助走の方向、ジャンプの方向、体の変化、タイミング、腕の振り、シュートコース、シュートの種類、ディフェンスとの接触、シュート結果の12項目であった。

【結果と考察】

世界の右サイド、世界の左サイド、学生の右サイド、世界の左サイドの4つのグループ間でシュートプレーを比較した結果、以下の6点が明らかになった。

- (1)世界レベルの右サイドと左サイドは、1歩の助走でシュートしているが、学生レベルの右サイドと左サイドは、1歩または2歩でシュートしている。
- (2)世界レベルの右サイドと左サイドは胸前、腰横でボールを保持しているが、学生レベルの右サイドと左サイドは胸前のみでボールを保持している。
- (3)世界レベルの左サイドは、イン側に跳び込む割合が低く、真上に跳ぶ割合が高い。
- (4)世界レベルの右サイドはサイドスローでシュートを打つ割合が高く、オーバースローは最も低い。一方、学生は左サイドも右サイドもオーバースローが多い傾向にある。
- (5)世界レベルの右サイドのシュートコースは股下と流しの中段が多いが、世界レベルの左サイドはひ

ぱり下が多い(表2)。

- (6)世界レベルの右サイドはスピードボールが多く、世界レベルの左サイドは逆スピンの多く、学生レベルの右サイドはループシュートが多い。

表1 腕の振り

	学生		世界	
	右サイド	左サイド	右サイド	左サイド
オーバースロー	43 (61.4%)	39 (55.7%)	23 (32.9%)*	46 (65.7%)*
サイドスロー	27 (38.6%)	31 (44.3%)	47 (67.1%)*	24 (34.3%)*
アンダースロー	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
合計	70 (100.0%)	70 (100.0%)	70 (100.0%)	70 (100.0%)

カイ2乗値=18.097, p<0.05 * 残差分析の結果 1.96より大きい又は-1.96より小さい

表2 シュートコース

	学生		世界	
	右サイド	左サイド	右サイド	左サイド
流し上	10 (14.3%)	17 (24.3%)	12 (17.1%)	8 (11.4%)
流し中段	5 (7.1%)	3 (4.3%)	15 (21.4%)*	4 (5.7%)
流し下	12 (17.1%)	18 (25.7%)	10 (14.3%)	16 (22.9%)
ひっぱり上	4 (5.7%)	3 (4.3%)	4 (5.7%)	6 (8.6%)
ひっぱり中段	5 (7.1%)	1 (1.4%)	5 (7.1%)	11 (15.7%)*
ひっぱり下	18 (25.7%)	14 (20.0%)	9 (12.9%)	17 (24.3%)
頭上	11 (15.7%)	8 (11.4%)	5 (7.1%)	6 (8.6%)
股下	5 (7.1%)	6 (8.6%)	10 (14.3%)*	2 (2.9%)
合計	70 (100.0%)	70 (100.0%)	70 (100.0%)	70 (100.0%)

カイ2乗値=42.671, p<0.05 * 残差分析の結果 1.96より大きい又は-1.96より小さい

シュート結果と分析項目の関係を右サイドと左サイドに分けて比較した結果、以下の1点が明らかになった。

- (1)左サイドのゴールは流し上、流し下、ひっぱり下のコースがほとんどであるのに対して、右サイドは様々なシュートコースを打ち分けている。

【結論】

この結果から、左利き右サイドと右利き左サイドにおけるサイドシュートプレーは、走り込みからシュート体勢を作るまではほとんど同じであり、その後の腕の振り、シュートコースに違いが見られることが明らかになった。